

新聞読み比べ 何か発見？



新聞を読み比べて、違いや似ているところを探す児童
 14日、伊平屋小学校

伊平屋小・野甫小

NIE合同授業

【伊平屋】伊平屋小学校、野甫小中学校の5年生の合同による新聞を活用した授業が14日、伊平屋小で行われた。NIEアドバイザー資格を持つ佐久間洋教諭（伊平屋小6年担任）が授業を担当した。授業は琉球新報、沖縄タイムスの2紙の違いを探すゲームで始まり、児童らは次々に違いを発表し、教諭らを感じさせた。

佐久間教諭は、5W1Hや結論から始まるなど記事の書き方や紙面の構成を説明した。「新聞を読み比べよう」のワークシートを使った授業では、各新聞1面記事の見出しを書き出し、それぞれの新聞記事の同じ点や似ている点、違う点を見比べてまとめた。

佐久間教諭は新聞を教材として使う利点として、新聞記事がタイムリーな話題で関心を持たせやすく、いろいろな記事に触れることで、社会性を身に付けることができると解説。また記事の内容について自主的に考えることで思考力、判断力、表現力などが身に付き「気軽に触れることで、新聞がより身近なものとして意識付けられることができる」と指摘した。

授業の感想として、上江洲清龍君は「二つの新聞のいろんな違いを見つけたのが楽しかった」と述べ、西銘ティナさんは「新聞の授業で分かったことを自分の意見として発表することができてうれしかった」と話した。

伊平屋小学校では、切り抜きした新聞記事で生徒が壁新聞を作り、記事に感想を書いて張り出すと、他の児童が感想をコメントするなどの新聞活用も行っている。

（野甫英芳通信員）